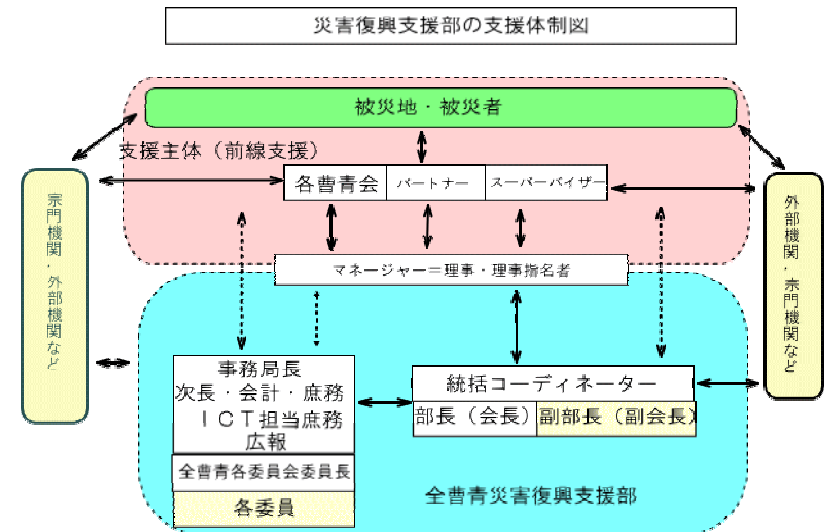


## 1-2 災害復興支援部の体制

- ➡ 部長＝全曹青会長
- ➡ 副部長＝全曹青副会長 2名  
⇒部長、統括コーディネーターに事故がある場合の代行。  
⇒部長・統括コーディネーターの補佐。
- ➡ 統括コーディネーター＝全曹青副会長 1名  
⇒組織内の情報集約、伝達、調整などコーディネート。
- ➡ 事務局（事務局長、事務局次長、会計、庶務、ICT 担当庶務）
- ➡ 各委員会委員長・各委員  
⇒広報委員会は、ICT 担当庶務とともに情報を発信する。  
⇒総合企画委員会は、平時における活動を特別委員会と協働しておこなう。  
⇒各委員会委員長および各委員は災害復興支援部の一員として、積極的に研修会等に参加し、該当地域での災害時にはマネージャーやパートナーと協働する。



青色枠内が全曹青の災害復興支援部となります。パートナー、スーパーバイザーは協力者となります。図式および実際は主なもの、分かりやすくするために簡略化しております。

- ➡ マネージャー＝全曹青管区理事もしくは管区理事が指名した者。  
⇒情報の集約や活動の掌握に努める。各曹青会、パートナーやスーパーバイザーと協働する。  
\* マネージャーが被災もしくは活動できない、連絡が取れないときは、統括コーディネーターが近隣スーパーバイザーもしくは近隣パートナーに職務の代行を依頼する。（発生直後は通信混雑等が考えられる。連絡が取れないというのは発生から2日くらいまでを目安とする）
- ➡ パートナー＝全曹青会員、非会員を問わない。各都道府県より一名以上の選出が望ましい。
  - (イ) 各曹青会の評議員がなる場合                      (ロ) 各曹青会の曹青会員がなる場合                      (ハ) 各曹青会の会員以外の宗侶がなる場合
  - (ニ) 非加盟曹青会の曹青会員がなる場合                      (ホ) 宗侶以外の方がなる場合
 ⇒各曹青会など活動主体の一員もしくは連携をする。現地からの情報連絡員の役割も果たす。  
⇒活動にあたっては、スーパーバイザーやマネージャーから補佐や助言やサポートを受ける。
- ➡ スーパーバイザー＝会員内外の実務経験者や有識者、外部機関の方など。  
⇒活動の立ち上げの補佐や助言。  
⇒外部（NPOや他の活動団体、社協）との連携や調整。  
\* 平時からの連携先の情報を災害復興支援部内で共有しスーパーバイザーやマネージャーが災害時に活用できるように。（連携先リスト）  
⇒マネージャーの補佐やパートナーとの協働活動。

\* マネージャー、パートナー、スーパーバイザーの選任、任期は、特別委員会にて決定する。